

## ゲートキーパー養成事業

### = 保護者支援研修会 =

|        |                       |            |             |
|--------|-----------------------|------------|-------------|
| (実施期間) | 平成25年度                | (基金事業メニュー) | 人材養成事業      |
| (実施経費) | 53,827 円 ( 53,827 円 ) | (実施主体)     | 沖縄県那覇市地域保健課 |

#### 【事業の背景・必要性・目的】

目的：那覇市の自殺者の状況として、男性は30～50代の働き盛りに多く、女性は30代の子育て世代に多いことがあげられており、そのなかで、日頃業務で子どもを通してあらゆる世代に接する機会が多い保育士が、うつ病や自殺関連行動について正しく理解し、ゲートキーパーとしての役割が期待される。本研修ではゲートキーパーとして、必要な情報を得、適切な相談機関につなげる等の対応ができることを目的として実施した。

#### 【地域の特徴・自殺者数の動向】

##### 特徴

- ・ 那覇市の自殺者数はH20～H24年、H19年以降80人台と横ばいであったが、H23年から77人、H24年は63人と大幅に低下している。
- ・ 働き盛りの男性（30～50代）の男性の自殺者が多く、直近の傾向として30代の自殺者の割合も多い。
- ・ 30・40代女性においては、自殺未遂歴があるが全国や県と比較し多い。

#### 【事業目標 事業内容】

目標：保育士ということもあり、ゲートキーパーという言葉に対して重たく考えないように、保護者支援の一環として、保護者への声のかけ方や対応がゲートキーパーに結びつくということを理解してもらう。

##### 内容

- ① 第一回（平成25年9月12日（木） 14:30～16:30）  
「ゲートキーパーとは？」「那覇市の現状と課題」講師：那覇市保健所 主査（保健師）  
「うつ病の理解と対応」講師：総合精神保健福祉センター 仲本晴男所長（医師）
- ② 第二回（平成25年10月24日（木） 14:00～16:00）  
「気になる保護者への声のかけ方」、「育児不安のある母親への対応」「死にたいと言われた時の対応等」講師：沖縄県立看護大学准教授 渡久山朝裕氏（臨床心理士）

#### 【事業実施にあたっての運営体制】

保育所を管轄するこどもみらい課の保育支援G研修担当者と共に実施し、保健所が研修内容について講師調整や内容調整、当日の運営を主に行い、保育所担当者の方で案内募集をする。市内の公立・認可園・認可外保育所165か所へFAXにて研修の案内を実施。

### 3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する④

#### 【事業の工夫点】

- ① 保育士ということもあり、ゲートキーパーという言葉に対して重たく考えないように、保護者支援の一環として、そのことがゲートキーパーに結びつくということを講義の中に盛り込む。
- ② 保育所より、保健師が関わっていた事例で対応に困っているだろうと予測した事例を考慮して提供してもらい、個人や提供保育所がわからないよう講師が内容を加工しそれを基にロールプレイの事例を作成した。

#### 【事業成果、今後の課題、その他特筆すべき点】

##### 1. 事業成果

###### <参加者状況>

- ① 年齢構成として、40・50代が一番多く次に20代となっている。
- ② 経験年数（平均）：1回目：19.4年 2回目：20.7年 ・継続受講 52人

|     | 参加者数 |    |     |     | (人) |
|-----|------|----|-----|-----|-----|
|     | 公立   | 認可 | 認可外 | その他 | 合計  |
| 1回目 | 15   | 48 | 15  | -   | 78  |
| 2回目 | 12   | 44 | 10  | 10  | 76  |

(アンケート) 回収率：1回目 88.4% 2回目 85.9%

- ・1回目2回目とも研修の感想として「とても参考になった」「まあまあ参考になった」と回答した人が9割以上おり、研修をまた受けたいという感想が多くあった。
- ・ゲートキーパー養成テキストの初級アンケート項目では研修前後で比較すると、質問項目全てにおいて正答率が上昇した。

##### 2. その他

###### <参加者の声>

- ① 1回目
  - ・悩んでいる人が相談できる環境作りが大切であり、適切な対応をすることで自殺を防ぐことができる事を知り勉強になった。
  - ・「ゲートキーパーとは何か」や心得を知りました。よきゲートキーパーになりたい。
- ② 2回目
  - ・今日の研修から学んだことを参考に親御さんとも関わっていきたいと思います。
  - ・仕事に活かしたり、地域とのつながりの中でのゲートキーパーになれるようにしていきたいと思いました。
  - ・事例もありとてもわかりやすかったです。気になる保護者へ声かけてみたいと思います。

##### 3. 今後の課題

- ・研修参加者へ対する受講後フォローアップ研修、今後保育士研修の中で取り組めないかななどを調整していく。
- ・研修対象者について、アンケートの声から、20代の保育士は今回の研修後も不安がある、40代・50代の保育士は研修を踏まえて対応したいとの意見が多く、経験年数により対応の仕方などがかわってくるため対象者にあわせた企画内容を考えていく。

3 早期対応の中心的役割を果たす人材を養成する④

資料

図1 自殺者数推移

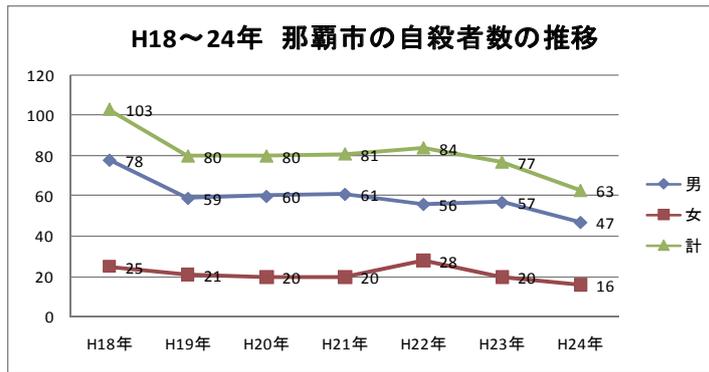


図2

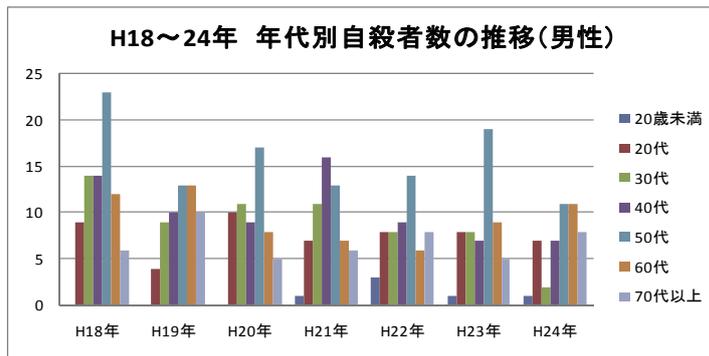


図3

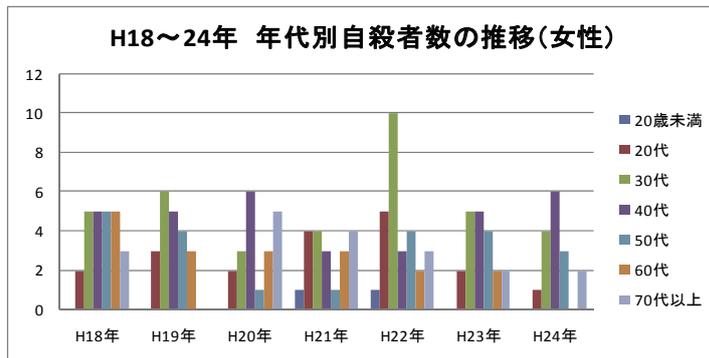
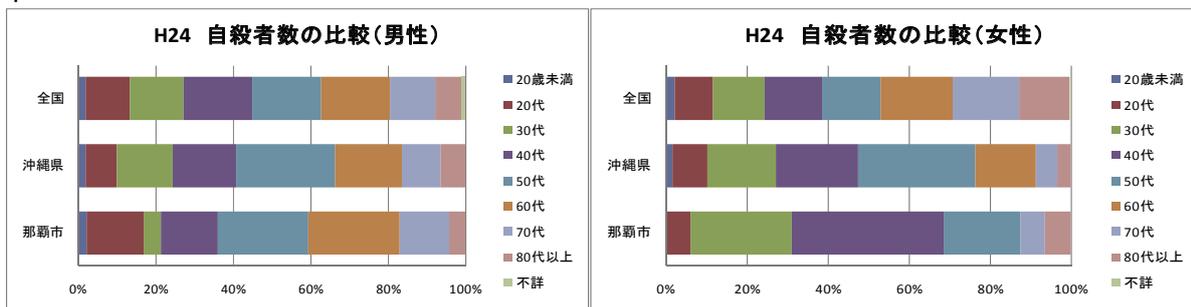


図4



出典※H18～23年は中央保健所概況（人口動態統計：那覇市民の自殺者数）、H24年は警察統計（発見地・発見日別）を参考に作成

(問合せ先)

沖縄県 那覇市 地域保健課

TEL: 098-853-7962

E-mail: K-TIIKI001@neo.city.naha.okinawa.jp

URL: <http://www.city.naha.okinawa.jp/kakuka/nahahokenjyo/>